

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月:平成27年3月

1.対象事業	茂原市合流式下水道緊急改善計画					
2.実施主体名称	茂原市					
3.計画期間	平成18年度～平成23年度					
4.対象事業の進捗状況	計画に基づき、以下の対策を実施した。 ①汚濁負荷量の削減 平成22年度:雨水滞水池(2,000m ³)の設置 平成23年度:千代田・本町の2箇所の雨水吐き室で堰かさ上げにより、負荷量削減、汚水の貯留遮集 ②公衆衛生上の安全確保 平成22年度:雨水滞水池(2,000m ³)の設置 平成23年度:千代田・本町の2箇所の雨水吐き室で堰かさ上げを実施 ③きょう雑物の削除 平成18年度に千代田・本町の2箇所の雨水吐き室でスクリーンを設置(処理場 昭和47年度設置済)					
5.目標の達成状況と達成の見通し	【改善目標】 ①汚濁負荷量の削減(分流式下水道並の汚濁負荷) →分流式下水道並の汚濁負荷量:BOD放流負荷量 28.5t/年 ②公衆衛生上の安全確保(未処理放流回数の半減) →未処理放流回数:千代田 21回/年 本町 19回/年 処理場 12回/年 ③きょう雑物の削減(きょう雑物の流出防止) →千代田、本町にスクリーン設置(処理場 昭和47年度設置済) 【目標に対する達成状況】					
	改善項目	評価指標	整備前	改善目標	事後評価(H26)	
	①汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	35.7 t/年	28.5 t/年	27.9 t/年	
	②公衆衛生上の安全確保	未処理放流回数	千代田	43	21	21
本町			38	19	17	
放流ポンプ			24	12	11	
	③きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所数	1箇所	3箇所	3箇所	
	【改善期限までの目標達成の見通し】 目標(汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保、きょう雑物の削減)に関する全ての対策が完了している。					
6.対象事業の整備効果の発現状況等	①汚濁負荷量の削減(分流式下水道並みの汚濁負荷) →BOD放流負荷量 35.7t/年から、27.9t/年まで削減【削減率21.8%】 ②公衆衛生上の安全確保(未処理放流回数の半減) →3箇所全て改善目標を達成【削減回数】 千代田 43回/年 → 21回/年 (22回) 本町 38回/年 → 17回/年 (21回) 処理場 24回/年 → 11回/年 (13回) ③きょう雑物の削減(きょう雑物の流出防止) →処理場、千代田、本町にスクリーンを設置に夾雑物の流出を極力防止している。					
7.事業の効率化に関する取り組み状況	計画汚水量の減少により、合流区域の処理施設に生じた余裕を利用して滞水池に改造することにより、事業効率化及びコストの縮減を図っている。また、下水道技術開発プロジェクト(SPIRIT21)の開発技術である夾雑物除去施設を採用した。					
8.今後の方針	茂原市では、合流式下水道緊急改善計画で位置づけた改善対策の整備が全て完了したことから、目標は達成された状況にあります。今後は整備した施設の適正な維持管理に努め、放流先となる一宮川の水環境を観察しつつ、地域住民に対し、情報提供に努めます。					